

二井田地区に運動場を新設

1周300㍍トラックと100㍍直線コース

今年11月末に完成

オープンは来春の予定

市では、二井田野球場の隣接地に運動場を新設することにし、いま工事を進めています。これは、地区住民をはじめ、同地区の工業団地に働く従業員のレクリエーションと体力増強のため、さらに同団地への企業誘致を促進させることを目的として建設するもので、完成は今年十一月末の予定となっています。

二井田地区には工業団地が配られており、現在は、一社が換気設備の工事を進めている。一社が工場を建設中ですが、今後さらに企業の進出を図るため、工場に働く従業員、さらには屋外スポーツの盛んな地区住民のため以前から運動場の設置を計画、このほど国から二井田野球場の建設地は、昭和五十三年にオープンした二井田野球場の東側に隣接する旧二井田中学校跡地約一万二千五百平方メートル、さらに同地南側に隣接する二井田産区から市に無償譲渡された約二千五百平方メートル、合わせて約一万五千平方メートルの土地で、同運動場は、一周が三百㍍の



運動場が建設される旧二井田中学校跡地
写真真実は53年にオープンした二井田球場

再配置費補助金への交付決定がなされたことから、新設に着手したものです。運動場の建設は、昭和五十三年にオープンした二井田野球場の東側に隣接する旧二井田中学校跡地約一万二千五百平方メートル、さらに同地南側に隣接する二井田産区から市に無償譲渡された約二千五百平方メートル、合わせて約一万五千平方メートルの土地で、同運動場は、一周が三百㍍の

市役所の電話番号は
49-3111
です

緑を愛する後継者

緑の少年団の全県交流集会が八月二日から三日間、当市長根山少年自然の家で知事はじめ三百余名のご出席をいただき盛大に開かれました。高度経済成長は私たちにとって物質的には大きな満足感を与えてくれましたが、そのことのみを追求した余り、自然破かい(軽視)、人間疎外のヒズミを生み、人間疎外のヒズミを生み、大きな反省を求められております。私たちの毎日の暮らしの中で自然とのかかわりのないものは何一つありません。それだけ大切な自然を軽視することは文化を否定することとも通じます。少し雨が降れば水害を、日照りが少し続けば干害を受けること、この反省の上で次世代を担う少年団が誕生し、豊かな郷土の緑に親しみ愛し、守り、育てる活動は誠に力強いことであり、市民と共にこの少年団の成長に協力します。



No. 17

生活に根をおろす省エネ
エネルギー事情は大変な事態を迎えており私たちの毎日の生活に、そして先行展望に大きな不安を与えております。そんな時にこれを逆手に大モウケをしていく大企業を見る時「私たちの生活を犠牲にまでにして」と大きな怒りを感じないでほしいと思います。しかし、私たち自身の自衛策として少しでもエネルギーを使わない方法を生活の中に求め定着させて行かなければならないと思います。これまでの生活の切りつめを含めた省エネ対策を求めることですから簡単にいいよう。しかし、現実には、エネルギーがガソリンや灯油の値段を下げている事実、そして誰かが何とかしてくれているのではなく、一人ひとりが行動しなければ解決しない現実です。決意をあらたに、態度で示そうではありませんか。

岡山健治郎

十瀬野公園に墓地造成 96区画が10月に完成

市では、花園地区にある十瀬野公園敷地内に、さらに九十六区画の墓地を造成中です。同墓地は、昭和二十五年、旧花矢町時代に建設されたもので、市に合併後の四十九年には七十二区画の拡張が行われており、現在、約二百八十基が設置されています。しかし、拡張時には分譲希望者が多く、五十五人が抽選もれとなつていことなどから、その後も地域住民の間で墓所拡張の要望が強く、このたび再度、墓所の拡張をすることになったものです。造成面積は六千二百二十平方メートル、一区画六・四八平方メートルで、九十六区画が完成されるものと見られます。

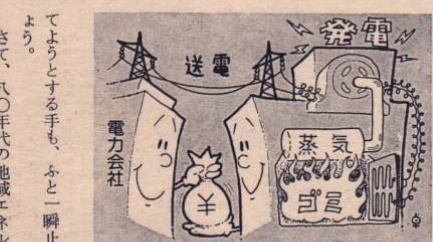


地域住民の要望に応え
造成中の十瀬野公園墓地

期待される新エネルギー開発

⑥ 「ゴミ発電」

行楽期の野山に、ゴミ発電機を回すわけですが、最近の家庭廃棄物は台所ゴミより、紙やプラスチックなどが次第に増えてきたために、一段とすぐれた燃料となつていきました。一例を挙げますと、東京都ではこのゴミ発電で、処理工場自体が使う電力料金十億一千八百万円をそっくり浮かせたりえ、余った電力を東京電力に売って一億二千五百万円(五十三年度)が収入となつていきました。こうしたことから、東京都では五十五年度から一億五千円の特大発電設備を持つゴミ工場の建設にかかるようですが、省資源プラス副収入の魅力的な決め手として、その他の都市でも同様のプランが進められています。ゴミも立派なエネルギー源なのです。



てようとする手も、ふと一瞬止まることとして、八〇年代の地域エネルギーとして大

ナンバーワン登場



田畑幸一さん

愛猫カニヤンコを撮った田畑幸一さん(大館市大南小学校)の写真が、労働省婦人少年局長奨励賞の栄誉に輝いた。勤労青少年福祉法制定十周年を記念して開かれた文化作品展には、全国の二十五歳未

全国勤労青少年文化作品展

労働省婦人少年局長奨励賞

田畑幸一さん(23)

満の若者から厳選された作品が出品された。当市からは勤労青少年ホームの写真グループ「フットサロム・ラデー」の会員が写真を持ち寄り、そのなかから田畑さんの作品を選んで出品した。田畑さんは「たまたまばくの写真が選ばれたもので、冗談に入賞したら盛大に祝賀会をやろうなんて話していたんです。入賞と聞いたときはほんとうにびっくりしました。」

写真をやりはじめたのは、「中学生のとき、S.Lが廃止になると聞いて記念に残しておき

あなたの街です。自然です。

in Clean

毎月25日は国税相談日 時間・午前10時〜午後4時